

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 20 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	田沢湖マラソン大会負担金					
担 当 課 係 名	観 光 課		観 光 係		作成者	藤岡 純
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	歴史と自然が織り成す交流拠点のまち				総合計画の ページ
	基本計画	観光誘客体制の整備と観光資源の掘り起こし				
	主要施策	テンミリオン計画の推進				29
予 算 費 目	一般 会計	7 款 商工費	1 項 商工費	3 目 観光費		
事 業 期 間	平成 年度 ~ 平成 年度		新規 / 継続の区分		継続	
性 質 区 分	☐ 市民サービス ☐ 公共事業 ☐ 施設維持管理 ☒ 補助金 ☐ 内部管理					
根 拠 法 令 等	なし					
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務					
運 営 方 法	☐ 直 営 ☐ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☒ 補 助					

【事務事業の実施内容】

事業の対象（誰のため・何を）	全国各地から来られる4千人を超えるランナーとスタッフ・観衆が一つになり、心のふれあいと健康づくりを推進する。
事業の目的・意図（どういう状態にしたいのか）	健康志向の高まりからマラソンを通じた心身の健康増進を目的とし、宿泊施設及び商店の経済波及効果を図る。
事業の内容（どのような業務、活動を行うのか）	・毎年9月第三日曜日開催。昨年で23回。 フルマラソン・20km・10km・3kmペアの4種目。 20年度は4,569名のエントリー。内仙北市からは197名。完走率93%

【事務事業の推移】

	項 目			単位	18年度実績	19年度実績	20年度実績	
効果	活動指標	大会参加者	目標	人	4,500	4,500	4,500	
			実績	人	4,535	4,627	4,569	
			達成度	%	100.8%	102.8%	101.5%	
	成果指標	負担金 / 開催経費	目標	%	37.59	35.48	29.93	
			実績	%	36.39	34.06	29.38	
			達成度	%	96.8%	96.0%	98.2%	
投下コスト	項 目		総事業費		18年度決算額(千円)	19年度決算額(千円)	20年度決算額(千円)	
	事業費（人件費を除く）(A)				10,000	10,000	8,000	
	人 件 費 (B)		—		3,927	4,036	7,925	
	職 員 数		—		0.50	0.50	1.00	
	職 員 平 均 人 件 費		—		7,853	8,071	7,925	
	(A) + (B) 投下コスト				13,927	14,036	15,925	
	財源内訳	国 庫 支 出 金						
		県 支 出 金						
		地 方 債						
		そ の 他						
		一 般 財 源				13,927	14,036	15,925
	単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—		3,071	3,033	3,485
市民1人当たりのコスト(円)		—		437	446	513		

【事務事業の今までの成果】

健康増進の観点からマラソンが流行し、年々参加者は増加している。田沢湖周辺の自然とスポーツを軸とした観光振興が図られている。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	特になし
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	沿道の応援がなく寂しい所がある。 前夜祭の参加者が少ない。

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性	判 定 に 至 っ た 理 由
B 2	A 現状のまま継続（実施）	- ランナーへのサービス内容の見直し - 協賛企業の検討 - 市民応援対策の見直し
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

・ランナーへの各種サービスを低下させずコスト削減を進め、その際スタッフに負担が偏らないよう改善を図る。

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
B 2	参加者は一定の水準を維持しており、大会としては定着しているものの、運営に関しては地域との関わりや協賛企業の動向、スタッフの確保など多くの課題が指摘されているところであり、改善への取組が求められていると考えます。

一次評価診断図

